

# メディカルライティング実践コース（MW 実） 参加者の声 ～参加者アンケートより～

## ■ 改正通知を踏まえた臨床概括評価の書き方

- 実際に業務で 2.5 を担当することになったため、タイミング良くポイントを学習することができて非常に役立ちました。
- 2.7 ではデータを記載、2.5 ではデータから導かれる結論を記載、ということを変更して認識しました。「Do not repeat! Summarize!」が、心にずっと響きました。
- 改正通知が発出された背景を理解できました。

## ■ 演習 1 : わかりやすい CTD 2.5.1 を作成する

- 全体を通して、講義だけでは得られない部分を演習で学習でき、とても有益でした。
- Problem statement を明示するということが、業務を振り返っても出来ていなかった。今後は、はっきりと明示し、明確な文章を作成していきたい。
- わかりにくく長い文章を読むのが苦痛で、このような文書を作成していないだろうか？と思わず自問しました。

## ■ 論証の基本構造

- 日ごろから論証を求められることが少ないと感じていましたが、この講義を受け、論証が求められていないのではなく、できていないのだということに気がきました。
- ライティングだけではなく、仕事の進め方でも論拠の大切さを身に染みて感じています。お客様と話がかみ合わない時は、論拠のすり合わせをするように心がけています。
- 現行の M256 のまとめ方の問題点とその対応について、論証の観点から学ぶことができました。

## ■ 演習 2 : ベネフィットに優先順位をつける

- 「優先順位付けを文章で書く」ことを意識して取り組むのは意外と難しいと感じましたが、読み手に分かりやすく伝えるためには、全ての文章で論拠・論証に関して常に意識しなければいけないと理解できました。
- 公開されている 2.5.6 は優先順位がわかりにくいものが多く、いつも悩んでいたのもので、この演習で自分で優先順位をつけることができ楽しかったです。

## ■ 国内外の審査事例の紹介

- 審査事例を通して実際の審査で重要となるポイントを学ぶことができました。参考にできる優れた申請書の事例があると良いと思いました。
- 現行の制度の中での事例を使っていてわかりやすかった。自分でも最近の審査報告書などを確認してみたい。